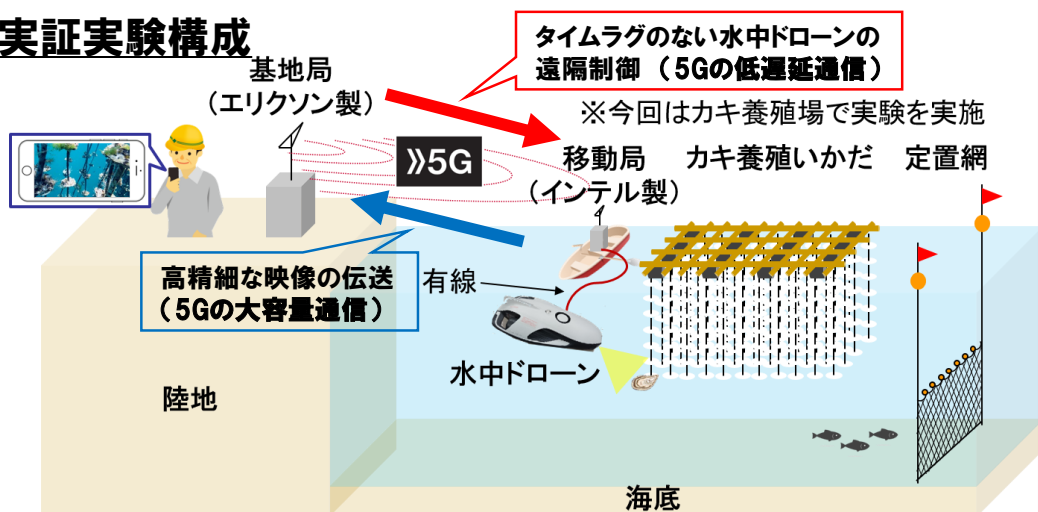
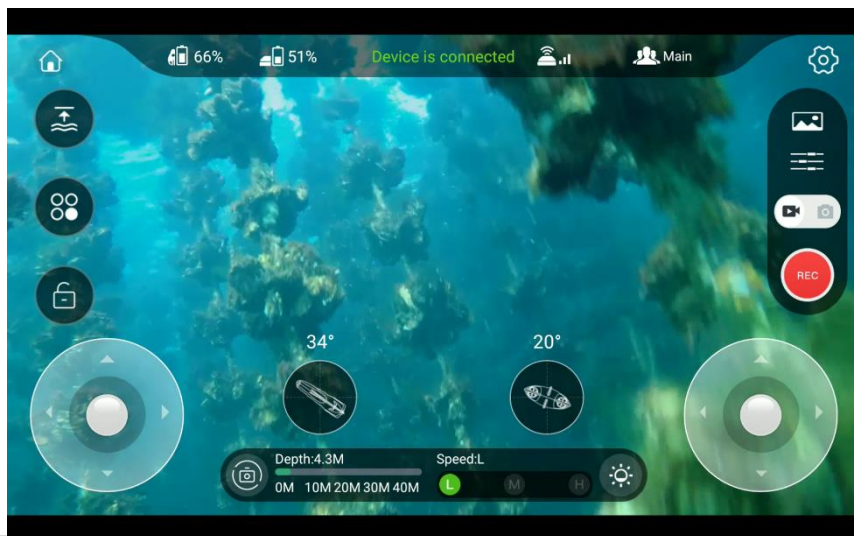


実証実験構成



水中ドローン操作画面



提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

実証実験/PoC段階

- 水中ドローンを用いた遠隔監視システムにより、遠隔から漁場の状況が常時観測可能になります。これに伴い、水産業界における労働者の作業効率化および負担軽減を実現します。

概要

- 東京大学中尾研究室の目指す水中ドローンを用いた遠隔監視システムは、あらゆる水産現場で海中の遠隔監視が可能となるシステムです。
- 5Gの高速大容量通信により、水中ドローンが撮影する高精細な映像をユーザーの元へ伝送します。
- 5Gの低遅延通信により、タイムラグのない水中ドローンの操作を、映像伝送に並行して実現します。

コラボレーションパートナー

NTTドコモの5G無線技術と東京大学中尾研究室の水中ドローンを用いた遠隔監視システムを活用して、漁場遠隔監視に関する実験協力を進めております。



また、Ericsson・Intel社より機材提供頂き実験を実施。

